

NPO法人園芸療法研究会西日本

NEWS LETTER 'HANATOWA'

はなとわ

2024年1月1日発行
H.T.W. NEWS 通巻第119号
〒664-0831 伊丹市北伊丹3-64-2
TEL&FAX 072-783-8739
URL <http://www.ht-w.org/>
E-mail : info@ht-w.org



2024

新年のご挨拶

宮上 佳江 (NPO法人園芸療法研究会西日本 理事長)

新年あけましておめでとうございます

2024年の年頭にあたり 争いが無くなり平和をとりもどす年になりますように

【植物を介して命の質に向き合う 園芸療法・園芸福祉】

宇宙で植物を育てる研究をしているチームがあるとか、いつか人類は地球外で暮らす時代が来るのでしょうか。温暖化が進むなかで、私たちの命は植物を含めた生態系の復活、再生にかかっています。自然と人の共生がより強く求められる時代になりました。豊かな生態系をとりもどし、地球環境をよりよく再生することを「リジェネラティブ」とあらわし、現状の維持や持続よりもさらに生物の多様性を再生させることが、私たちの生命維持につながるという考えです。

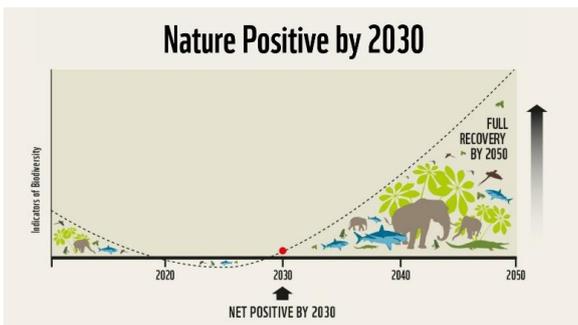
人が健康であるためには、人だけが健康になればよいのでしょうか。そうではありませんよね。人が健康であるためには、自然の営みが健康で豊かであることが大切なのだと思います。人も自然の一部であり、多様な生き物が生態系を豊かにすることで、人も健康で豊かな生き方ができるのではないのでしょうか。

園芸療法・園芸福祉の場をつくるうえで、私は長い間、人の快適性を追求してきました。しかし、それだけでは健康で豊かな命の質に至るのは難しいと、数年前から考えるようになりました。草や樹木が茂り、落葉が土を肥し、虫や鳥と人が共に生きる環境が、本来生き物としての私たちの快適な居場所なのだと思います。

そして、人と人がつながり、支えあい、成長する場が年月を経て創られていくことで、人の居場所になり、役割ができ、生きがいを見つけることができるのだ

と思います。私たちは植物の栽培が園芸療法や園芸福祉に変化する瞬間を体感したコミュニティです。植物を介した命の質に向き合う場を、ひとつまたひとつ創造できればと願います。

今年はこれまで以上に会員のみなさまと対話を重ね、次の時代にむけて当会の活動の方向性を模索しますので、よろしく願いいたします。



ネイチャーポジティブ 概念図

出典： [Nature Positive](#)